



謹賀新年

2016年(平成28年) 正月



皆様、明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり有り難うございました。どうか本年もよろしくご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。さて、昨年、この新年のご挨拶で軽減税率のことを書きました。

もう一つ気になるのが“軽減税率”の話。食料品などの生活必需品等の税率を低く抑えるという複数税率を導入しようとしています。そうなれば、もはや手作業での請求書発行は困難になりコンピュータシステムを使わざるを得ないことになるかも知れません。どのような制度になるのか予断を許しません、ギリギリになってからではシステムの導入や対応もおぼつかなくなるかも知れません。政府の動きに注目し、是非、早めの対応をご検討下さるようお願いいたします。

と書いていたんですね。そしてその軽減税率は昨年末に正式に導入が決まりました。

私たちは戦々恐々としています。ギリギリになってからシステムの改修依頼が殺到するのではないかと。はんばいQシリーズは、データの内部構造上は一行毎に税額計算をしていますので大幅な改修をしなくてもインボイスにも対応できるようになっています。とはいえ、請求書の出し方などプログラムを修正しなければなりません。また、各社毎にカスタマイズさせていただいておりますので個別対応が必要な場合もあります。詳細なことが決まり次第、早めのご対応を今年も年頭にあたりお願い申し上げる次第です。

どうか、今年も皆様方にとりましていい年でありますようにお祈り申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

サポート株式会社 代表取締役 米田 明



のほそ道

☺シリーズをご活用いただいているいろいろなお客様を尋ねて感じたことや学んだことを徒然なるままに……

恭賀新年♪ 明けましておめでとうございます！ 本年もどうぞ、宜敷く御願ひ申し上げます♪

皆さんはお正月はゆっくりされましたでしょうか？

私、☺も年明けからアクセル全開で仕事出来るエネルギーをきっちり充電させて戴きました！今号は、そのお休みをキーワードにしたお話ですよ。

私達には、建機リース業さま向けの販売管理システムもあるんです♪ 建機リースの会社は、例えばユンボ(油圧ショベル、パワーショベルカー、バックホー)やダンプカー、夜間照明などを建設現場に貸し出されます。そしてそのレンタル料を算出して請求書を発行するお助けをするのが私達のシステムなんです！ ※かしこいでしょ～(^^)

よく建設関連は、晴天時お仕事はかどりますが、雨天はお休み・・・ってお聞きになりませんか？

ほな、に借りた車は雨の日どないしてんの？って思われますよね。

じつは、一旦返却します！・・・ではありません^^;

休車(☺車ではありません)といって、レンタル料の算出から雨天の日を除外するんですよ。使っていませんからね～！天候によって左右されてしまうお仕事にとっては、素晴らしい仕組みです♪

その他にも「傭車(ようしゃ)」や「損料(そんりょう)」など、独特の用語がもっともっとありますがまた次の機会にご紹介します～(^^)

では、☺も今年から悪天候時は「耆休」ということでお休みしますね・・・嘘です^^;

皆さんのところにどんな天候でも笑顔で伺いますので、宜敷く御願ひ申し上げます！



読者 訪問



第73回

お伺いした会社 佐々木化学薬品株式会社
お話を伺った方 代表取締役 佐々木 智一 様、取締役 平手 利明 様
事業内容 試薬および化学工業薬品の開発・製造販売
会社の所在地 〒607-8225 京都市山科区勤修寺西北出町 10
連絡先など TEL:075-581-9141 (代表) FAX:075-593-9784 (代表)
URL http://www.sasaki-c.co.jp/

京都市山科区にある佐々木化学薬品さんにお邪魔しました。同社には2年ほど前にBIBU@spをベースにした販売管理システムを導入させていただきました。もともと昔のオフコンのシステムを使っておられたのですが、5年ほど前に同社のHPなどを手掛けているソフト会社に新システムの開発を依頼されました。ところが何年経っても同社が希望する仕様での運用ができません。プログラムがなかなか思うように修正されず一つ指摘するとそこは直るが他のところに不具合が出る、またそこを直すると他に影響が…といういたちごっこみたいな状態が数年続き、こっちが言っていることしたいことがちゃんと理解されずに悶々としていたとおっしゃいます。

たまたまそのようなときに私が同社を訪れ佐々木社長とお話する機会を得ました。システムの現状をお聞きしてピンとききましたので、次のようなことを申し上げました。

「ソフト会社は大きく分けて二つのタイプがあります。情報系と勘定系です。情報系とは、ホームページの制作とか最近流行のクラウドシステムを使ったいろいろな便利ツール(例えば乗換案内や観光案内などの情報提供・情報共有システムなど)の開発をやっているところです。それに対して勘定系とは、会計ソフトや販売管理システムなど業務用のアプリケーションソフトを開発している当社のような会社を指します。情報系の会社は会計や販売などの業務システムについては疎いところがあり、勘定系の会社はホームページ制作や情報提供型のクラウドシステムなどには疎いところがあります。現に当社にHPの制作依頼をいただいてもHPのしゃれたデザインなどは全くの門外漢ですのうちではできませんと言ってお断りしています。ところが御社が頼まれたソフト会社は情報系の会社であったが故に、御社の希望される仕様を正確に理解できなかったのかも知れませんね」

この説明に佐々木社長はすっかり納得されたご様子で、「それならばうちのシステムの開発をやって欲しい」とご依頼いただきました。先の失敗を体験されているだけにかかなり慎重に打合せは進みました。

実際にサポートのシステムを導入されている会社の話も聞きたいということで、当時稼働しはじめたばかりの京都エレベータ株式会社さんの「エレベータ保守管理システム」の見学もさせていただきました。

それまで使っていたオフコンから画面も操作もまったく変わることにに対する抵抗や、社内ルールの変更、大丈夫ですかという不安の声などに苦労しましたと平手取締役はおっしゃっていましたが、いろいろ紆余曲折しながら本社、滋賀支店、東大阪営業所、鹿児島営業所の約70台のパソコンを結ぶネットワークシステムが完成し、現在順調にお使いいただいております。

「慣れるまで大変だったけど、システムが稼働したことで発注が楽になったことや、好きなときに好きなデータが取り出せるようになったことなど業務の効率化が図れるようになった」とおっしゃって下さいました。

同社は1946年(昭和21年)に創業され、現在の社長は4代目にあたられます。創業当時は薬局をされていたそうですが、京都大学などに研究用、実験用の薬品を販売することから工業系の薬品の取り扱いに重点を移してこられました。

1970年頃は電子工業で薬品を使うというのはメジャーではなかったそうですが、半導体産業の成長と共に需要も増加しました。

特に京都には多くの電子工業系企業があり、それらの企業の成長と共に事業を拡大してこられました。ところが近年は半導体産業も海外移転が進み、ものづくり産業が徐々に衰退しつつあります。

そのような状況の中、佐々木社長は国内で競争力のある企業が海外移転しないためになにができるか、日本のものづくりをもっと活性化するためになにができるかと、ものづくりを応援する立場からいろいろ考えておられます。コストのみならず環境性能の高いもの、安全性の高いものを日本のものづくり企業に提供することにより競争力を高めてもらい、日本のものづくりの活性化に寄与したいとおっしゃいます。

事業ドメインも「化学薬品」→「化学」→「科学」と変化し、さらには科学技術のみならず営業技術やあらゆる技術の提供ができる会社になりたいとおっしゃっています。

『喜びの創造と技術の革新』を掲げ、「ものづくり支援業」としてお客様が力を持って世界で戦えるように支援していきたい。困ったことがあれば佐々木化学薬品に相談すればいいと言われた。と将来ビジョンを熱く語っておられた佐々木社長のもと、「智」「仁」「和」をキーワードに、日本のものづくりの縁の下の力持ちとして更なる躍進を遂げていただくことを念じております。



佐々木社長(左)と平手取締役



本社の外観

